

春日部市役所本庁舎耐震化に関する市民アンケート

アンケートご協力をお願い

日ごろから、市政にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、皆様ご承知のとおり、市役所は、大規模災害などが発生したときに、市民の皆様の安心・安全を守る「防災拠点」としての機能を有する極めて重要な建物です。

しかしながら、現市役所本庁舎は、平成23年3月の東日本大震災により被災し、応急補修工事を実施しましたが、防災拠点としての耐震性は不十分な状況です。

地震、水害、竜巻など、近年、これまでに例を見ない大規模災害が発生し、市民生活の安心・安全が脅かされるおそれが生じております。

市役所の耐震化のため、市では、「現市役所本庁舎の耐震補強」、「市役所の移転建替え」の2つの手法について、別添「説明書」のとおり、比較検討してまいりました。

今回、この2つの手法について、市民の皆様のご意向を把握するため、20歳以上の市民の方々から、無作為に3,000名を抽出し、「春日部市役所本庁舎耐震化に関する市民アンケート」を送らせていただきます。

ご回答いただきました内容は、集計・分析のみに使用いたします。個々のご回答の内容が外部に漏れることはありません。

説明資料を同封させていただきましたので、まず、説明資料を一読いただき、率直なご意見をお寄せください。

お忙しいところ恐縮に存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひ、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成26年1月

春日部市長 石川良三

アンケートご記入にあたってのお願い

1. 回答は、あてはまる番号に 印をつけてください。
2. 回答は、このアンケート票のみ、同封の封筒で返信してください。
3. 回答は、1月31日（消印有効）までに返信してください
4. お問い合わせがありましたら、こちらまでご連絡ください。

春日部市総務部 管財課 施設営繕担当

電話：048-736-1111（内線2257）

FAX：048-733-3826

メール：kanzai@city.kasukabe.lg.jp

1. ご自身についてお答え下さい。

質問 1. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

質問 2. あなたの年齢をお答えください。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代
5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳以上

質問 3. あなたの、お住まいの地域をお答えください。

1. 粕壁 2. 幸松 3. 武里 4. 内牧 5. 豊春
6. 豊野 7. 庄和

質問 4. あなたは、春日部市に何年ぐらい住んでいますか。

1. 5年未満 2. 5～9年 3. 10～19年
4. 20～29年 5. 30年以上

2. 市役所の耐震化についてお答えください。

質問 5. 市では今後、市役所の耐震化を進めなければならないと考えております。

市役所の耐震化を図るためには、「現市役所本庁舎の耐震補強」と「市役所の移転建替え」いずれかの整備案の選択が必要です。あなたは下表の、どちらの案がよいと思いますか。

【耐震化案】

整備案	現市役所本庁舎の耐震補強	市役所の移転建替え
	A 案	B 案
整備手法	現市役所本庁舎を免震工法で耐震補強	移転候補地での建替え
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・現市役所本庁舎は築 43 年を迎えていることから、約 25 年後には建替えの必要が生じます ・執務室の分散は解消されません 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎は長期使用が可能です ・新たに建築することから、庁舎の機能向上を図ることができます ・執務室の集約ができます
事業費	34.4 億円	43.6 億円
使用可能年数	約 25 年	約 100 年 (日本建築学会 建築工事標準仕様書 JASS5 を引用)
1 年あたりの投資額 (事業費 ÷ 使用可能年数)	1.38 億円 (34.4 億円 ÷ 25 年)	0.44 億円 (43.6 億円 ÷ 100 年)

事業費は、現状の床面積を基に算出したものです

回答欄(1つに)

1. A 案 (現市役所本庁舎の耐震補強) がよい
2. B 案 (市役所の移転建替え) がよい

質問 6. その他、アンケート説明書をご覧いただいたうえで、市役所耐震化の2つの整備案について、またはこれからの市役所にあると望ましい機能や施設について、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

回答は、同封の返信用封筒にて、このアンケート票のみ、
1月31日(消印有効)までに返信してください。切手は不要です。